

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 09-037191

(43)Date of publication of application : 07.02.1997

(51)Int.Cl.

H04N 5/64

(21)Application number : 07-201585

(71)Applicant : MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD

(22)Date of filing : 14.07.1995

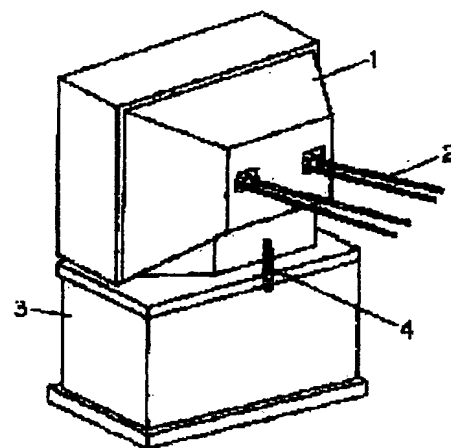
(72)Inventor : MATSUMURA NAOKI

(54) FALL PREVENTIVE DEVICE FOR TELEVISION RECEIVER

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To easily perform attachment and to prevent the falling of a television receiver regardless of an attaching position with a rack for the television receiver.

SOLUTION: By holding the television receiver by a cord 2 whose one side is fixed to the wall surface of a house or the like and the other side is hooked to the hook-like body 1a of the back cover 1 of the television receiver, falling is prevented. Also, by inserting a band 4 attached to the rack 3 to the band insertion hole of the back cover 1 and fixing it, the falling of the television receiver is prevented.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

* NOTICES *

Japan Patent Office is not responsible for any damages caused by the use of this translation.

- 1.This document has been translated by computer. So the translation may not reflect the original precisely.
- 2.**** shows the word which can not be translated.
- 3.In the drawings, any words are not translated.

CLAIMS

[Claim(s)]

[Claim 1] A safety against overturning of a television set with which a string with which an end was fixed to a fixed object prepared ***** stopped in back covering of the back section of a television set.

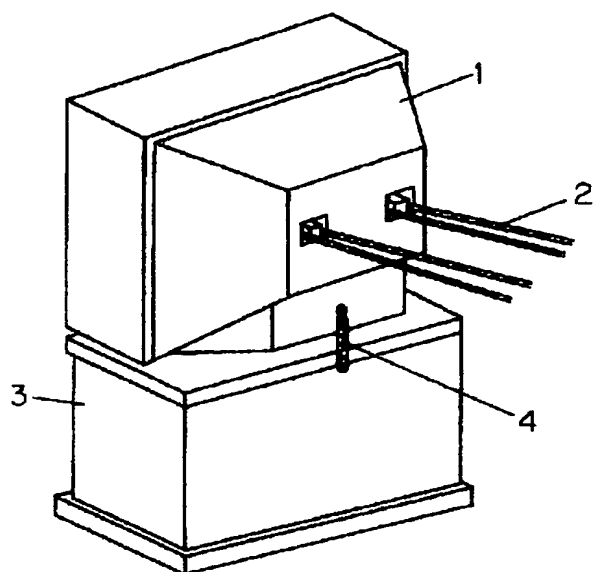
[Claim 2] A safety against overturning of a television set constituted with a band which prepared intussusceptum which an end fixes behind a band insertion hole which ****(ed) to back covering of the back section of a television set, and a rack for television sets with which a television set is laid, and the other end inserts in said band insertion hole.

[Claim 3] For a band insertion hole, intussusceptum of a band is the safety against overturning of a television set according to claim 2 made into a globular form which can press intussusceptum fit according to deformation of a band insertion hole a path is larger than said circular band insertion hole, and according [are the circular hole with which slits were formed successively, and] to said slit.

[Claim 4] It is the safety against overturning of a television set according to claim 3 which prepared a ramp which bends said slit by preparing a slit which a path forms a small narrow diameter portion in a band from globular form band intussusceptum at a tip, and can insert said narrow diameter portion in a band insertion hole, and it is smaller than a path of a band insertion hole, and are formed successively to a band insertion hole.

[Translation done.]

- 1 バックカバー
- 2 紐
- 3 ラック
- 4 バンド



[Translation done.]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平9-37191

(43) 公開日 平成9年(1997)2月7日

(51) Int. Cl.[°]
H04N 5/64識別記号
571

庁内整理番号

F I
H04N 5/64

技術表示箇所

571Z

審査請求 未請求 請求項の数4 FD (全5頁)

(21) 出願番号 特願平7-201585

(22) 出願日 平成7年(1995)7月14日

(71) 出願人 000005821

松下電器産業株式会社

大阪府門真市大字門真1006番地

(72) 発明者 松村 直樹

大阪府茨木市松下町1番1号 株式会社松

下エーヴィシー・テクノロジー内

(74) 代理人 弁理士 栗野 重孝

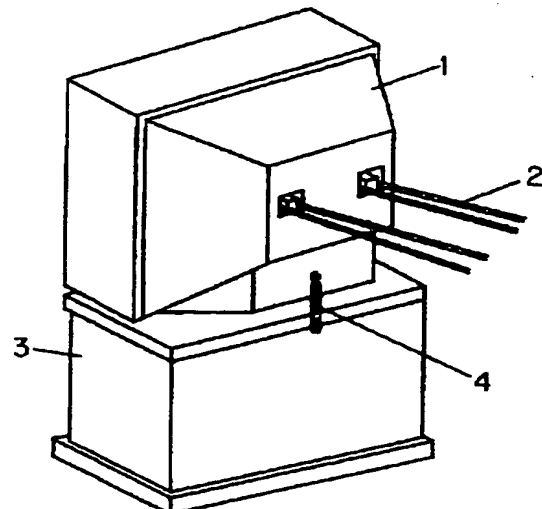
(54) 【発明の名称】 テレビジョン受信機の転倒防止装置

(57) 【要約】

【目的】 本発明は取り付けが簡単で、かつテレビジョン受信機用ラックとの取り付け位置にかかわらずテレビジョン受信機の転倒防止が可能となることを目的とする。

【構成】 片側を住宅などの壁面に固定し、もう片側をテレビジョン受信機のバックカバー1の鉤状体1aに引っかけた紐2によりテレビジョン受信機を保持することにより、転倒を防止することができる。また、バックカバー1のバンド挿入孔にラック3を取り付けられたバンド4を挿入し固定することにより、テレビジョン受信機の転倒を防止することができる。

- 1 バックカバー
- 2 紐
- 3 ラック
- ④ バンド



【特許請求の範囲】

【請求項1】 固定体に一端が固定された紐が、係止される鉤状体をテレビジョン受信機の背面部のバックカバーに設けたテレビジョン受信機の転倒防止装置。

【請求項2】 テレビジョン受信機の背面部のバックカバーに透設したバンド挿入孔と、テレビジョン受信機が載置されるテレビジョン受信機用のラックの背部に一端が固着され他端が前記バンド挿入孔に嵌入する嵌入部を設けたバンドとにより構成されたテレビジョン受信機の転倒防止装置。

【請求項3】 バンド挿入孔はスリットが連設された円形の孔であり、バンドの嵌入部は、前記円形のバンド挿入孔より径が大きく前記スリットによるバンド挿入孔の変形により嵌入部が圧入できる球形とした請求項2記載のテレビジョン受信機の転倒防止装置。

【請求項4】 バンドには先端の球形のバンド嵌入部より径が小さい小径部を形成し、バンド挿入孔には前記小径部が挿入できかつバンド挿入孔の径より小さくてバンド挿入孔に連設するスリットを設け、前記スリットは折曲する傾斜部を設けた請求項3記載のテレビジョン受信機の転倒防止装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明はテレビジョン受信機（以下、テレビと略称する）を設置した際の転倒防止装置に関し、特に壁などの固定体に対するテレビの設置場所または、テレビ用ラック（以下、ラックと略称する）とそのラックに載置するテレビの位置が特定されないで、どこにでも設置でき、またテレビを覗くときにその設置角度を変更したりすることができる機能をもった転倒防止ができる装置に関するものである。

【0002】

【従来の技術】 テレビが地震などの振動によって転倒したり、またはテレビ用ラックなどの上より転落する事故がある。これらの事故を防止するために、バンドをテレビとラックの両方にネジ止めして固定する転倒防止装置や実開昭55-150552号公報に示された構成の転倒防止装置が知られている。

【0003】 図4に実開昭55-150552号公報に示された例を示す。図4においてテレビ41の背面部に突出する地板42にはスリット孔43を設け、そのスリット孔43に先端の下方折曲部44を引っかけた鉤状片45をラック46にネジ47で固定している。従って、鉤状片45の固定位置と地板42のスリット孔43との配置は特定されるものであって、テレビ41はラック46上の特定位置に載置しなければならない。また、テレビの画面を覗くときに、テレビ41のみをラック46上において覗く角度を変更することはできない。ラック46が小重量のものであればラック46と一緒にテレビ41を動かすことができるが、ラック46が大重量であっ

たり簡単に移動できない物体の上にテレビ41が載置されている場合は、転倒または転落を防止する鉤状片45によりテレビ41を単独で移動させることができないものであった。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】 本発明が解決しようとする従来の転倒防止装置の問題点は、テレビの設置箇所または設置方向が転倒防止装置との関係において特定され、テレビ単独で壁などの固定体またはラックと別に移動させることができないと云うことであった。

【0005】 本発明は前記する従来の転倒防止装置の問題点を解決することを目的とし、転倒防止装置を備えながら壁などの固定体またはラック上に配置する位置が転倒防止装置の影響を受けないで任意にすることができる転倒防止装置を提供するものである。

【0006】

【課題を解決するための手段】 請求項1記載に係る発明は、固定体に一端が固定された紐が、係止される鉤状体をテレビジョン受信機の背面部のバックカバーに設ける構成としたものである。

【0007】 また、請求項2記載に係る発明は、テレビジョン受信機の背面部のバックカバーに透設したバンド挿入孔と、テレビジョン受信機が載置されるテレビジョン受信機用ラックの背部に一端が固着され他端が前記バンド挿入孔に嵌入する嵌入部を設けたバンドとにより構成したものである。

【0008】 また、請求項3記載に係る発明は、請求項2記載に係る発明において、バンド挿入孔はスリットが連設された円形の孔であり、バンドの嵌入部は、前記円形のバンド挿入孔より径が大きく前記スリットによるバンド挿入孔の変形により嵌入部が圧入できる球形としたものである。

【0009】 また、請求項4記載に係る発明は、請求項3記載に係る発明において、バンドには先端の球形のバンド嵌入部より径が小さい小径部を形成し、バンド挿入孔には前記小径部が挿入でき、かつバンド挿入孔の径より小さくてバンド挿入孔に連設するスリットを設け、前記スリットは折曲する傾斜部を設けたものである。

【0010】

【発明の実施の形態】 本発明は、地震などの振動によりテレビが転倒したり、またはテレビ用ラックの上からテレビが転落したりする事故を防止するために、テレビ自体およびテレビ自体とテレビ用ラックに適用することができる転倒防止装置であり、請求項1記載に係る発明の実施例を実施例1に示し、請求項2、3ならびに4記載に係る発明の実施例を実施例2に示したものである。

【0011】

【実施例】

（実施例1） 図1は、本発明の実施例1と実施例2におけるテレビの転倒防止装置の斜視図であり、図2の

(a)、(b)は実施例1における鉤状体を示すものである。

【0012】図1、図2において1はテレビのバックカバー、1aは前記バックカバー1に形成した鉤状体でバックカバー1側に向かって突設する形状を有しているものである。2は端部が住宅の壁などの固定体に固着された紐であり、前記する鉤状体1aに係止されている。従ってテレビは紐2によって振動によっても前方に転倒することが防止される。

【0013】前述のように紐2によってテレビのバックカバー1に形成された鉤状体1aに係止されているため、壁などの固定体に対して、またテレビ用のラック3の上面に対してテレビの位置は特定されることなく、紐2で屈く限り変動できるものであるから、実施例1においては転倒防止装置の存在にかかわらず任意に設置場所ならびにテレビの向きを移動することができ、使い勝手の良いものである。

【0014】(実施例2)図1、図3において1bはテレビの背面部のバックカバー1に透設した円形のバンド挿入孔でスリット部1cが連設されている。

【0015】4はバンドで、その先端に形成された球形の嵌入部4aの直径はバンド挿入孔1bの直径より僅かに大きく構成されている。そして嵌入部4aを挿入孔1bに押圧すると、挿入孔1bはその周縁にあるスリット部1cの存在によって弾性をもって変形され球形の嵌入部4aは圧入される。4bは嵌入部4aに連設する小径部でスリット部1cにバンド4の移動により嵌入する。従って嵌入部4aもスリット部1cに沿って移動し容易にバンド挿入孔1bより抜けることはない。

【0016】また、4cはバンド4に透設した調節孔で、この調節孔4cを使用してラック3の背部にネジでバンド4を固定することができる。

【0017】また、1dは図3の(b)に示すようにスリット部1cに折曲して設けた傾斜部であり、この傾斜部1dを設けると振動によって嵌入部4aがバンド挿入孔1bより容易に抜けることがない。

【0018】実施例2は前記構成によりテレビをラック3に対して特定した位置でなくバンド4の嵌入部4aがバンド挿入孔1bに嵌入する位置にある範囲で移動する

ことができる。従ってバンド4とバンド挿入孔1bより構成される転倒防止装置が備えてあるにもかかわらず、転倒防止装置によってテレビとラック3との位置関係を従来例のように固定する必要がない。勿論テレビの向きを転倒防止装置を備えた儘でも変更することができる。

【0019】なお、実施例1と実施例2とを同じテレビとそのラックに応用すれば、転倒防止がより一層確実になる。

【0020】

【発明の効果】以上説明したように本発明の転倒防止装置によれば、テレビと固定体またはテレビとそのラックの位置関係を広くすることができ、テレビの取り付け位置に自由度があり、便利なものである。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施例における転倒防止装置を備えたテレビとラックとの斜視図

【図2】(a)実施例1における鉤状体の斜視図

(b)(a)におけるS1-S1線断面図

【図3】(a)実施例2におけるバンド挿入孔とバンドとの分解斜視図

(b)同実施例2におけるバンド挿入孔に傾斜部を設けた要部正面図

(c)(a)におけるS2-S2線断面図

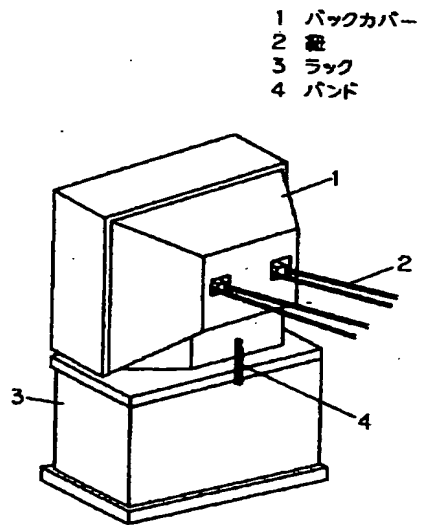
【図4】(a)従来例における転倒防止装置を備えたテレビとラックとの斜視図

(b)同要部拡大断面図

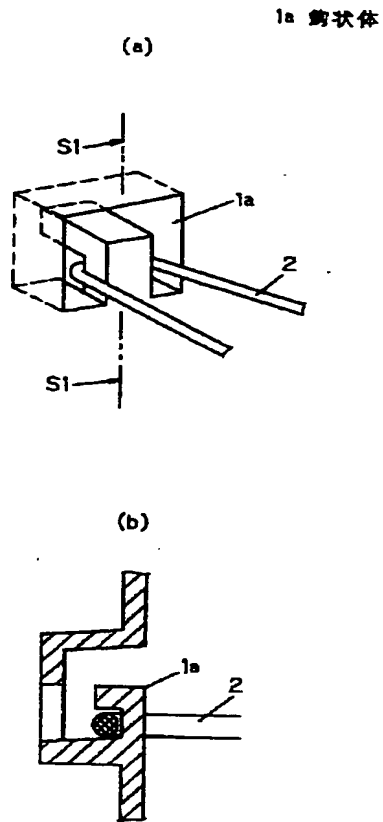
【符号の説明】

- 1 バックカバー
- 1a 鉤状体
- 1b バンド挿入孔
- 1c スリット部
- 1d 傾斜部
- 2 紐
- 3、46 ラック
- 4 バンド
- 4a 嵌入部
- 4b 小径部
- 4c 調節孔

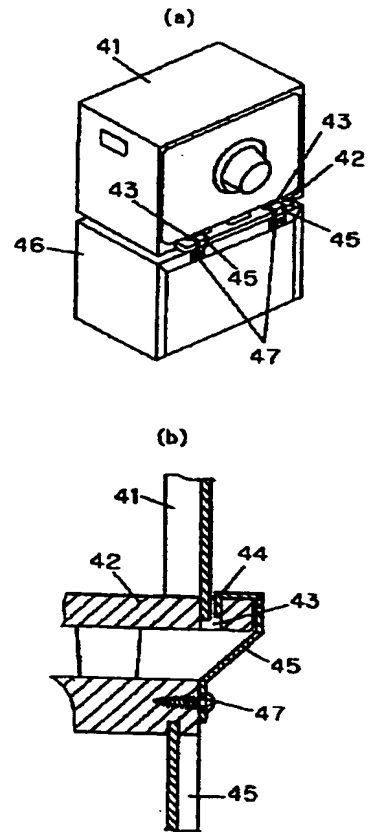
【図1】



【図2】



【図4】



【図3】

